



OFIX公式キャラクター
ボラちゃん

T O P I C S

- ・「国際理解教育」OFIXの取り組み
- ・在住外国人の皆さんの災害時の困りごとはなんですか？
- ・相談会・研修会のご案内

「国際理解教育」OFIXの取り組み



目指すものは？

OFIXでは、多文化共生社会の担い手となる人材を育む一助として、多様な国や地域の文化を紹介する授業を実施しています。

日本で生活している留学生などに外国人サポーターとして登録していただき、府内の小・中・高等・支援学校にて、自国の文化等を紹介する多文化理解の授業をしていただいています。プログラムは概ね1時間で、それぞれの学校の要望に応えつつ、各国の風土や風習、生活様式などの紹介や文化体験などの内容となっています。

こうした授業を契機に、次世代を担う若い人たちが世界の多様な人々の生き方に興味を抱き、共に手を携えて暮らしていく社会をいかに構築していくのかを、考えて行動できるようになってほしいと思っています。将来的には、文化紹介にとどまらず、多文化共生について深く考える機会を提供する授業も、実施していきたいです。



活動状況

今年8月末での外国人サポーターの登録数は109人。中国籍の人が一番多く、韓国、ベトナム、インドネシアと続きます。学校への派遣者数は16人、派遣学校数は83校、対象の児童・生徒数は758人となっています。

サポーター派遣活動に加え、今年度は「外国人のためのメンタルヘルスワークショップ」を、7月（日本語によるもの）と9月（英語によるもの）に開催しました。日本で生活する外国人の方たちが、異文化に暮らす時のこころの変化やストレスの対処法（コーピング）などについて、メンタルヘルスを損なわないために役立つヒントを学んでもらいました。



メンタルヘルスワークショップの様子

今後も多文化理解を深める機会を増やしていく予定です。

活動先の反響・反応

派遣した学校からアンケートに回答していただき、授業の評価の参考にしています。昨年度の満足度は、平均 **92%**（2024年度実績）。

数字からもわかるとおり、高い評価をいただいています。

昨年度の活動でいただいたアンケートを見ると、児童のみなさんからの意見としては、

「たのしかった」
「アメリカのことについてよくわかった。（サポーターが）日本語でしゃべっていてすごいと思った」
「（イランに）モスクがたくさんあることを知ってびっくりした」
「日本とちがうところや、にているところがあっておどろいた」
「いろいろな国のことがしれて、他の国に関心をもてた」
「（モスリムの）女の人のかみをかくすのは、いつも大変なのかなと思った」



国際理解教育の授業風景

などがあります。

児童・生徒のみなさんはそれぞれに刺激を受けているようです。



発表するサポーターの様子

学校関係者からは、

「子どもたちと関わりながら、学習を進めていただけたので、児童一人一人が前向きに学びを深めることができた。質問を受ける時間には、親身になっていただいた」
「大満足でした。子どもたちが楽しめていたので良かったです」
「子どもたちの質問に一生懸命答えてくれる姿も大変良かったです」

との声をいただきました。

今後もみなさんの期待に応えられる活動を進めていきます！

現場レポート

9月に大阪府内の小学校で一年生の国際理解教育の授業を見学しました！

中国出身のサポーターが講師となって、中国の地理・文化（特に子どもの遊び）や食べ物について話しました。話を聞いた一年生は、積極的に手を挙げて質問していました。

サポーターは「中国コマ」と言われるひもで繋がっている2本のスティックとお椀を2つ合わせたようなコマを使って、いろいろな技を披露。コマを回しながらひもをあやとりのように操る実演に歓声が上がりました。



国際理解教育の授業風景



実演の様子①



実演の様子②

在住外国人の皆さんの災害時の困りごとはなんですか？

OFIXニュース112号から始まったシリーズの3回目
今回はインドネシア人の大学生のフィクリさんです。

シリーズ OFIXボランティア インタビュー ★その3★

(OFIX外国人サポーター フィクリさん)



自分が学習した防災知識を伝えていきたい

-災害の経験はありますか？

地震の経験が二回あります。

-日本で防災訓練を受けたことはありますか？

大学ではありませんが、アルバイトでインドネシアから来た実習生を案内して、あべのタスカル（防災センター）※を何度も訪れています。そこで、地震が起きた後、どう行動すべきか、シミュレーションで大地震を経験して学びました。

防災訓練をたくさんしました！



フィクリさんはインドネシア出身。大学の国際部3年生です。

-防災に関して考えてる事がありますか？

どのくらいの力になれるかわかりませんが、日本で災害が起こったら「こうですよ」というように、私が防災について学んだ経験を自国から来た人たちに伝えていきたいです。

-防災について、在住外国人のみなさんへの支援に、どんなことが必要だと思いますか？

外国人のみなさんは、一度は防災訓練や災害に関する学習をする機会が必要だと思います。

フィクリさんのインタビューの詳細はnoteをご覧ください。
https://note.com/ofix_jp



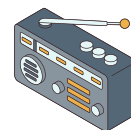
※あべのタスカル（防災センター）について
詳しくはこちら→



やさしい日本語ミニレッスン

災害時ほどだれにでもやさしい日本語が必要とされます。

日頃からやさしい日本語が使えるように練習しておきましょう。



- 1 身の安全を確保してください。 ⇒ 自分（じぶん）の 体（からだ）を まもって ください。
- 2 家族の安否は確認できましたか。 ⇒ 家族（かぞく）が 安全（あんぜん）か わかりましたか。
- 3 可能な限り安全な場所へ移動しましょう。 ⇒ 安全（あんぜん）な ところへ 行（い）って ください。



相談会・研修会のご案内

外国人のための無料何でも相談会 大阪出入国在留管理局

無料

日時：11月11日（火）
1:00pm～4:00pm

場所：マイドームおおさか
大阪市中央区本町橋2-5

対応言語：英語、中国語、ベトナム語、
スペイン語など

相談形式：対面

予約方法：2通りあります。

①二次元コードから

（予約受付締切：11月5日）

②電話：0570-064259（ナビダイヤル410）

受付時間：月～金 10:00am～5:00pm

※予約なしでも相談できます。（予約優先）

通訳あり



▲二次元コードから
申込下さい。

外国人相談対応力強化事業（大阪府委託事業）

外国人旅行者に接する事業者を対象に、全4回の研修を実施します。

	日にち	テーマ
第1回	12月1日（月）	コミュニケーション
第2回	12月4日（木）	多文化理解
第3回	12月8日（月）	医療
第4回	12月11日（木）	非常時の対応

時間：1:30pm～5:30pm

場所：マイドームおおさか

参加費：無料

方式：対面

主催：（公財）大阪府国際交流財団 企画推進課



編集後記 10月13日に大阪・関西万博が閉幕しました。みなさんも会場に足を運ばれたのでしょうか？
マスコットキャラクター「ミyakミyak」が前評判に比べて、日を追うごとに大人気となったのはうれしい誤算でした。ミyakミyak、半年間万博を盛り上げてくれてありがとう！

OFIX賛助会員募集中！

法人1口年額50,000円 個人1口年額3,000円

<https://www.ofix.or.jp/donate/>

- ◆OFIX発行の印刷物、報告書その他の刊行物を無償又は優先的に提供
- ◆OFIXの事業活動や国際交流に関する情報等を掲載した「OFIXニュース」（季刊）や報告書（年1回）の送付
- ◆OFIXホームページバナー広告無料掲載（法人会員様）

※公益財団法人に対する寄附金の税法上の優遇措置適用法人

OFIXホームページ バナー広告募集中！

<https://www.ofix.or.jp/banners/>

JICA大阪デスク@OFIX

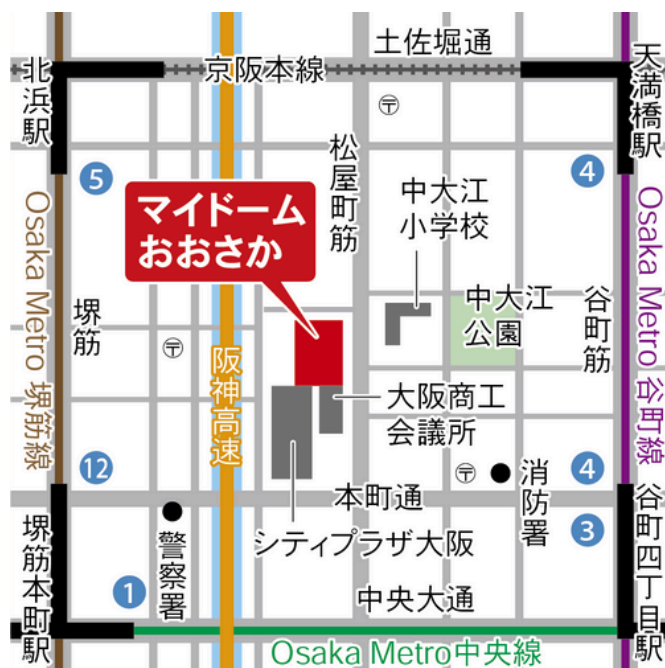
OFIX事務所に「JICA大阪デスク」を設けています
Tel: 06-6966-2400

Email: jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp



OFIXニュースへの感想、ご意見等お待ちしております
info@ofix.or.jp

アクセス



公益財団法人大阪府国際交流財団(OFIX)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5

マイドームおおさか5階

TEL: 06-6966-2400 FAX: 06-6966-2401

Email: info@ofix.or.jp